

# せいがかしだめら

いよいよ一学期も残りわずかとなりました。一年は初めての夏休み。六年生は小学校最後の夏休みです。子どもたちにとって有意義な夏休みになりますように。

## 心のこもったあいさつをめぐって



今年の中央小学校では、朝のあいさつに変化が出てきました。高学年になって、自分からあいさつ運動に参加してくれるあいさつボランティア隊の子どもたちが増えました。「いこいのいい学校」をめざして、積極的にあいさつ運動をしてくれる子どもが増えるよう、自然と子どもたちから「おはようございます」と声が出るようになりました。また、七月にはボランティア隊による「会釈」についての劇をしました。今のあいさつに「会釈」を取り入れ、もっと心のこもったあいさつにしていこうとがんばっています。

また、毎月初めの三日間は「あいさつ運動」として、校区福祉委員会のみなさん、民生児童委員さん、PTA実行委員さんが正門に立ちあいさつして下さっています。今後とも、あらゆる機会を通じて、あいさつの大切さを伝えていきます。

## 生活アップ運動



中央小学校では、第二中学校区の二中・中央小・東小・津田小と一緒に「生活アップ運動」に取り組んでいます。子どもたちが元気に登校し、学び、遊ぶためにはご家庭での生活基盤が重要です。中央小学校では今回、「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を今一度見つめなおすためにも、六月は生活アップ月間として取り組みました。二学期に生活アンケートの実態調査をした上で学級指導を行います。

貝塚市立中央小学校  
生活指導だより  
二〇一七年七月

## 裏面は、 校区の危険個所!!

## 子どものごとでちょっと気になったら

いじめ・カウンセリング・教育相談・発達相談

子どもたちについて「ちょっと気になる」というサインを感じたら、すぐに対応することが大切です。それがどんなサインなのかを見極める必要があります。学校でいじめられているのかな、学習が難しくなってきたのかな、最近イライラしているのかな、どうしてかな、集団生活ができていないかな…。保護者として子ども様が変わると不安になるのも仕方ありません。そんな時に誰かに相談すると解決の糸口が見えることが多々あります。

学校では子どものことで様々な相談を受け付けています。相談窓口は各担任ですが、担任以外には生活指導の枝村か、教頭宇野までご連絡いただいてもかまいません。学校では、毎週木曜日にスクールカウンセラーの森本先生(臨床心理士)が来校されるので、相談することができます。

学校新聞七月号でお知らせしましたが、中央小学校にも通級指導教室が開設されました。子どもたちはそれぞれ多様な困り感をもっています。子どもの困り感や不安感については通級指導教室の武内または特別支援コーディネーターの松田までご連絡ください。

相談は学校だけではありません。本校には二〇人の校区民生委員・児童委員さんがいらっしやいます。身近な相談者としてとても心強い方々です。また、保護者のご希望があれば、他の相談機関を紹介いたします。貝塚市教育研究センターや貝塚市役所健康子ども部子ども福祉課にも相談できます。

何よりも大切なのは、家庭が子ども心の心の基地となり、自分は大切にされて、守られているのだと子ども自身が実感できるようにすることです。子どもが持つ成長する力を信じ、それを最大限に発揮できるように、学校と協力して育んでいきましょう。

学校生活で...  
悩んでいることはありませんか?  
困っていることはありませんか?  
いじめ、不登校...  
誰でも相談できます。  
コスモダイヤルに電話してね。

コスモダイヤル (教育に関する悩みを電話相談)  
0120-222-674 ☎433-7110  
月・水・木 (祝日を除く)  
9:15 ~ 16:45  
貝塚市教育研究センター 教育相談室



## 交通安全教室

本校では、校区にある関西自動車学院のご協力のもと、全学年に交通安全教室を開催しています。おなじみのルールマンをはじめたくさん個性豊かなキャラクターが子どもたちの安全を守るために大切なことを教えてくれます。

- 1・2年生…歩行、飛び出し、信号について
- 3・4年生…自転車の乗り方について
- 5・6年生…交通事故の被害、加害について



一学期は一年生と三年生で実施しました。一年生は、横断歩道のわたり方、信号を守ること、そして飛び出しの危険性について、映像と劇を交えて教えていただきました。三年生は主に自転車についてお話していただきました。自転車の点検、安全な発進の仕方、そして危険な場所の通り方について順に映像を使ってお話してくれました。



## 非行防止教室



六年生は、貝塚警察少年課の職員の方に来ていただき、非行防止教室が行われました。今回学習したのは、非行につながるきっかけについてです。目的もなしに夜に徘徊すると非行グループに狙われ、非行に走ることをお話してもらいました。一日非行に走るとなかなか止まらない実態も話していただきました。

五年生は、岸和田少年サポートセンターから青少年健全育成推進委員の吉村さんと大阪府警察本部生活安全部少年係スクールサポーターの小坂さんに来ていただきました。子どもたちが、これから守るべき社会ルールや規則、規範意識について学習していきます。



# 中央小学校『交通事故をなくすために 子どもも親も交通ルールを守ろう！！』

1学期中に交通事故が1件ありました。幸いけがは比較的軽度のもので済み、事故にあった児童も元気に学校生活を送っています。交通事故にあわないために、全学年の交通安全教室の実施にむけてすでに取り組んでいます。これから始まる夏休みを前に、地域での児童のすごし方が懸念されます。中央小の児童が全員笑顔で2学期をスタートできるために、保護者の皆様のご協力が必要不可欠であることは言うまでもありません。ついては、各家庭で以下に挙げることを中心に交通安全についてお子さんと真剣に話し合ってくださいと思います。

- ① 通学路を守って登下校する。
- ② 道路の端やグリーンベルト、歩道を歩行する。歩行者は右側、自転車は左側を通行する。
- ③ 交差点では、必ず立ち止まり、信号が青でも必ず左右の安全確認をする。信号無視や無理な横断はやめ、一時停止場所では、確実に停止する。
- ④ 道路で遊ばない。

※中央小学校への登下校の際の送迎で交通の妨げになるという苦情がよせられています。子どもたちの安全な登下校の為にも車での送迎はご遠慮ください。尚、個人懇談会の車での来校は禁止です。

## 中央校区の主な危険箇所

